

2025 年河川観測高度化シンポジウム

報告書

土木学会水工学委員会 河川観測高度化研究小委員会
一般財団法人河川情

はじめに

このたび、『2025年河川観測高度化シンポジウム』を、2025年6月21日に中央大学後楽園キャンパスにて開催いたしました。本シンポジウムは、土木学会水工学委員会 河川観測高度化研究小委員会（委員長：手計太一 中央大学教授）および一般財団法人河川情報センターの共催により、河川観測に携わる研究者、行政関係者、民間事業者の方々が最新の技術や成果を共有し、議論し合う場として企画したものです。

近年、気候変動の影響により洪水や豪雨災害のリスクが高まる中、河川における水文データの重要性はますます高まっています。本シンポジウムでは、河川観測に関する最新の事例や研究成果を紹介するとともに、実際の観測現場における課題を率直に提示し、技術の発展に向けた議論を深めることを目的いたしました。

当日は、大学・研究機関、民間企業の第一線でご活躍されている方々にご講演いただき、実際の観測結果や技術開発の取り組み、さらには災害時に得られた貴重なデータ解析についてご報告いただきました。これらの知見は、河川観測の精度向上や防災・減災への活用に資する重要な示唆を与えてくださったものと確信しております。

最後に、本シンポジウムの開催にあたり、ご講演いただいた発表者の皆様、質疑応答に積極的にご参加くださった参加者の皆様、ならびに運営にご協力いただいた関係各位に心より御礼申し上げます。本報告書が、今後の河川観測技術のさらなる発展に資する取り組みの一助となることを願っております。

注意書き

本報告書は、「2025年河川観測高度化シンポジウム」における各講演および質疑応答の音声を文字起こしたものと、発表に使用されたスライド資料をもとに構成しています。

講演はスライドを投影しながら進められたため、発言内容には「これ」「このように」など、スライドを参照して初めて意味が明確になる表現が含まれています。そのため、文章のみでは分かりにくい箇所がある点をあらかじめご了承ください。

また、講演の文字起こし本文中では、どのスライドに対応しているかを明示するために、スライドの説明が始まる箇所で「<スライド1>」「<スライド2>」…のように記載しています。ただし、講演者からご提供いただいたスライドの中には、途中のページを削除して公開されているものなどもあるため、講演の文字起こし本文中のスライド番号と、スライド自体に記載されたページ番号が一致しない場合があります。その点につきましてもご理解をお願いいたします。

なお、本報告書に掲載しているスライドは、講演者のご厚意により提供いただいたものに限られています。すべての講演に対応するスライドが掲載されているわけではないことも、あわせてご承知おきください。

2025 年河川観測高度化シンポジウム 報告書

目次

1. 合同流量観測における ADCP および電波式流速計による観測結果	1
井上敬太（中央大学大学院）	
2. 風の影響補正のための風向風速の観測について	25
本永良樹（一般財団法人河川情報センター）	
3. 合同流観での GPS 浮子観測	47
長浜則夫（明星電気株式会社）	
4. 合同流量観測会（R6. 8、R7. 4）における電波流速計計測の結果報告	65
大江悠介（クリマテック株式会社）	
5. ADCP 搭載ラジコンボート「EZ-Boat500」の紹介	83
吉川世里子（株式会社ハイドロシステム開発）	
6. 交通インフラ用レーダの河川への適用実験	101
佐野弘樹（沖電気工業株式会社）	
7. 浮子測法の不確実性について	115
萬矢敦啓（国立研究開発法人土木研究所）	
8. 流量観測の誤差について	123
椿涼太（神戸大学）	
9. 令和 6 年能登半島豪雨における塙田川氾濫時の住民撮影動画解析	139
柏田仁（東京理科大学）	
10. 河川表面流計測に基づく洪水時横断水深分布の推定	147
吉村英人（岐阜大学）	